

# 太龍寺事業所安全報告書

2008年



(南の捨身が嶽 弘法大師坐像)

太龍寺ロープウェイ

四国ケーブル株式会社

## 1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。

当社にとり、最大の使命でありますお客様の安全輸送に関し、常に全社員が安全意識を持ち、お客様に快適な乗物として頂けるよう接客サービス面を含めた環境整備を継続して行い、当社の社是であります『お客様に安全と快適と感動のお布施を行する。』を実行してまいります。

また、各事業所とも施設の点検、整備を確実に実施していくと共に、20年度には、12月に太龍寺事業所において原動滑車・ロープの交換等、数週間の運休を伴う大規模な設備更新工事を予定しております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

今後とも、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

四国ケーブル株式会社

社長 赤川 正樹

## 2. 基本方針と安全目標

### (1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- ① 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（安全管理規程を含む。以下、「法令等」という。）をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

(2) 安全目標

自社責任による事故発生をゼロにする。

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(1) 索道運転事故

ありませんでした。

(2) 災害(地震や暴風雨など)

ありませんでした。

(3) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

1 強風による運休は、7日間延べ18時間20分ありました。

2 雷による運休は、11日間延べ8時間40分ありました。

3 故障等による輸送障害は、平成19年8月19日、同年10月27日に、制動装置油圧ユニットの油漏れにより各2時間運休いたしました。

(4) インシデント(事故の兆候)

平成19年11月30日、原動滑車のボス部溶接部分に亀裂が発生しました。メーカーの調査、応急処置のため12月7日、13時40分まで運休しました。12月7日、14時から運転再開いたしました。

平成20年12月に滑車交換を予定しております。

(5) 行政指導等

原動滑車を交換するまでの点検整備について、メーカーの指示通り、確実に実施するように指導されております。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全重点施策

- ・ 基本動作の励行
- ・ 設備の老朽化による事故、輸送障害をなくする。(予防保全)
- ・ 係員のミスによる事故、輸送障害をゼロにする。

(2) 人材教育

- ・ 連絡会を定期的に行い、その都度問題点、周知事項等の確認をする。
- ・ 従業員の業務上の体験(ヒヤリ・ハット等)・経験、お客様からのご意見、そして提案事項等、全員が内容を共有できるように記録ノートを設置し、記録する。

- ・ 技術係は定期的に勉強会を開催し、技術レベルの向上に努める。また、研修会資料、新聞等の事件事事故事例を紹介し、原因を検討し事故防止に努める。

### (3) 緊急時対応訓練

4週ごとに作成する勤務割り表に搬器からの救助訓練、予備原動機運転訓練の予定を交互に入れ、習熟する。また、年末年始輸送安全総点検に併せて、消防署の立会いの下、搬器からの救助訓練を実施する。

### (4) 安全のための投資と支出

予防保全の理念の下、各設備の補修、更新及び従業員の不安全行動の抽出に努める。

上記、記録ノートの提案事項の内容を検討し、順次処理する。

\*平成20年度の投資予定は次のとおりです。

- ・ 搬器窓交換（ポリカーボネイト）
- ・ ロープ交換（曳索Ⅰ、Ⅱ）
- ・ 減速機オーバーホール
- ・ 原動滑車交換
- ・ 搬器ダンパー OH
- ・ 搬器ホルダー、ピン順次更新
- ・ 搬器走行機のオーバーホール
- ・ 主原動機ブラシ交換
- ・ 受電室換気扇オーバーホール
- ・ シーケンサ電源オーバーホール
- ・ 誘導滑車ゴムライナ交換
- ・ 支柱、懸垂機用受索輪ライナ交換
- ・ 調節滑車調整用油圧シリンダー OH
- ・ 曳索ソケット交換
- ・ 曳索ソケットメタルオーバーホール

### (5) 工事による運休予定

**平成20年12月3日～12月29日**まで、ロープ交換等の工事のため運休いたします。

お客様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、15年経過した設備の安全性向上のための工事でございます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

## 5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

- ・ 社長 輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
- ・ 安全統括管理者 輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
- ・ 索道技術管理者 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理  
その他の技術上の事項及び事故防止に関する事項の業務を統括管理する。
- ・ 技術部副部長 安全統括管理者の指揮の下、安全統括管理者の安全に関する業務を補佐する。
- ・ 事業所所長 索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の業務を補佐する。
- ・ 運輸営業部長 輸送の安全の確保に必要な要員の確保に関する事項を統括する。
- ・ 総務経理部長 輸送の安全確保に必要な財務に関する事項を統括する。

当社、安全管理体制図は別図のとおりです。

末尾に別図添付

## 6. 利用者の皆様との連携とお願い

より安全で信頼される **ロープウェイ** をつくるため、皆様からの声を役立てます。ご意見をお寄せください。

『お客様の声をかたちにしていきます。』

## 7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

四国ケーブル株式会社

太龍寺ロープウェイ事業所

TEL 0884-62-3100 FAX 0884-62-3101

ホームページ <http://www.shikoku-cable.co.jp/>

E-mail [info@shikoku-cable.co.jp](mailto:info@shikoku-cable.co.jp)

# 安全管理体制図

(別図)

四国ケーブル株式会社

